

発議第 5 号

健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化に反対する意見書

上記の意見書を別紙のとおり提出します。

令和4年12月13日

提 出 者

八雲町議会議員 横 田 喜世志

賛 成 者

八雲町議会議員 佐 藤 智 子

八雲町議会議長 千 葉 隆 様

健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化に反対する意見書

いまの日本は賃金が上がらず、年金は削減され、物価高騰で国民は苦しんでいる。新型コロナ第8波も心配される中、政府が「スピード感」を持って、突然打ち出してきたのが現在の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードと保険証を一体化する方針である。

これまで法律でマイナンバーカードの取得は任意とされてきたものが、事実上、取得の強制に変わることになる。マイナンバーカードの交付率は9月末の時点で49%、昨年10月に始まったマイナ保険証利用者は全人口の約2割である。マイナポイントに2兆円以上も使う異常な方法を取ってもカードの普及の動きが鈍いのは「利便性を感じない」「情報の流出が不安」などが理由とされている。

まともな個人情報保護の仕組みや法律をつくらず、マイナンバーカードに銀行預金など個人の全財産をヒモ付けするなど、個人情報をできるだけ集め、管理・利用したい政府や財界の思惑が透けて見える。

健康保険証廃止とマイナンバーカード一体化には多くの医療機関も反対し、中止を求める声が広がっている。

情報流出を止めることができず、プライバシーをおびやかす恐れのある健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化に反対し、中止を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月13日

北海道二海郡八雲町議会議長 千葉 隆

【提出先】

内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長
総務大臣
厚生労働大臣